

TPP（環太平洋経済連携協定）を考える緊急学習会

TPPで、日本の未来と私たちのくらしはどうなるの？

ー 農林漁業、食料・食の安全、環境、労働市場、地域産業、医療、金融など、くらし全般に与える影響と未来を考えるー

12月10日（金）10:00～12:30

ところ 岩手県水産会館 5階 大ホール 参加無料

(盛岡市内丸16-1 TEL019-623-8141)

TPPとは、シンガポール、ニュージーランドなど4カ国が06年に締結した協定のこと。現在、農産物輸出大国の米国やオーストラリアなどもTPPに加わろうとしており、さらに米国は積極的に参加国を増やそうとしています。内容は例外のない関税の撤廃ですが、物の貿易だけでなくサービスや知的財産、人の移動も含めた広範囲な協定です。

政府は11月9日に、TPP参加について「協議を開始する」と表明しました。その途端、「平成の開国だ」「乗り遅れたら経済の大損失だ」「農業分野にはマイナスでも全体からみれば些細だ」という大合唱が始まりました。本当にそうなのでしょうか？もし日本がTPPに参加すると、日本の食料自給率は現在の40%から13%にまで下がると農水省は試算しています。自国の食料も満足に作れない国に、主体性や一国として発言権は確保できるのでしょうか？食の安全は大丈夫でしょうか？農業や食だけの問題ではありません。雇用や地域経済など、あらゆる分野やくらしに影響すると言われてしています。

その影響とは未来への安心なのか、危険な道なのか？
ぜひ、一緒に学び、考えてみましょう。



《講師》 太田原 高昭 先生

北海道地域農業研究所顧問・北海道
大学名誉教授

- ・ 福島県会津若松出身
- ・ 1990年より北海道大学教授、農業経済を中心に北海道産産を長年にわたり研究、03年退職。
- ・ 日本協同組合学会会長や、日本農業経済学会会長、北海道農業顧問などのほか、北海道食の安全・安心委員会会長や、コープさっぽろの会長も歴任。

主催 岩手県生活協同組合連合会

参加お申し込み・お問合せ

岩手県生活協同組合連合会

TEL019-684-2225 FAX019-684-2227

ざっくばらんな語り口と、広い視野でのお話の内容は大変分かりやすいです。ぜひ、誘い合わせてご参加ください。